



CHALLENGE VISION

チャレンジビジョン2030

— 組合員や社会から共感・信頼を得られる運動をめざして —

- 生保労連は、2009年に向こう10年間の今後の運動の方向性として策定したNewチャレンジ宣言に沿って、今日まで運動を展開してきました。
- 今般、これまでの10年を振り返るとともに、これからの10年間で産業別労働組合として何をすべきなのか検討を行い、生保労連運動の次なる方向性として「チャレンジビジョン2030」を取りまとめました。
- チャレンジビジョン2030では、「組合員や社会から共感・信頼を得られる運動」を基調に、「めざす姿」の実現に向け、さまざまな課題に果敢にチャレンジしていくこととしています。
- 2019年10月、生保労連は結成50周年を迎えます。この大きな節目を機に、私たちは、チャレンジビジョン2030に沿って取り組むことを通じ、産業別労働組合としての役割・機能を一層発揮していきたいと考えています。

私たちの「めざす姿」

- 生保産業に関わる仲間が広く結集し、
- 魅力ある産業・労働条件づくりや持続可能な社会づくりへの積極果敢なチャレンジ、各組合への親身な支援・サポートを通じて存在感を高め、
- 組合員や社会に大きく貢献している組織



全国生命保険労働組合連合会

National Federation of Life Insurance Worker's Unions (LIU)

チャレンジビジョン2030の全体像



私たちの「めざす姿」

生保労連運動の3つの方向性

①お客さまや社会に「貢献」し「信頼」を得る

- (1)お客さまの負託に応える生保産業をつくる
- (2)国民が安心できる生活保障をつくる
- (3)安心と働きがいのもてるワークルールづくりに貢献する
- (4)地域・社会への貢献活動を行う
- (5)生命保険への理解を広める

②「人への投資」を通じて安心と働きがいのもてる職場・ルールをつくる

- (1)統一闘争による効果を最大限発揮する
- (2)働きがいと誇りのもてる営業職員体制をつくる
- (3)安心と働きがいのもてる労働条件・職場環境をつくる
- (4)生保産業で働く者に対する理解を広める

③共感のもてる組織と新しい仲間づくりを進める

- (1)各組合の活動・組織強化を支援する
- (2)組合活動への多様な人材の参画を進める
- (3)すべての働く仲間や関係各方面との絆・つながりを深める
- (4)生保労連・各組合の活動への理解を広める

「組合員や社会から共感・信頼を得られる運動」を基調に

生保労連に求められる役割・機能

お客さまや社会に貢献していくための「政策機能」

- 社会に貢献する産業・企業づくりに向けた「経営チェック・提言推進機能」
- 産業政策課題・国民的諸課題の解決に向けた「政策実現機能」
- 国民生活の安定に向けた「政策提言機能」
- 生命保険への理解を広める「広報・PR機能」

各組合・組合員に対する「支援・サポート機能」

- 統一闘争を通じた労働条件の「相場形成・相乗効果発揮機能」
- 各組合のニーズを踏まえた「情報交換機能」
- 各組合の取組みに資する「情報提供、調査・研究機能」
- 各組合・組合員が抱える個別課題への「アドバイス機能」
- 各組合のリーダー養成・マンパワー強化に向けた「教育支援機能」
- 生保産業で働く者に対する理解を広める「広報・PR機能」

働く仲間や関係各方面との「絆・つながり機能」

- 生保産業に関わる働く仲間との「絆を深める機能」
- 国内外の働く仲間との「つながりを強める機能」
- 有識者、マスコミ、国会議員、消費者団体、NPOなどとの「ネットワークを強める機能」
- 生保労連・各組合の活動への理解を広める「広報・PR機能」

☑先見性ある課題提起を通じた「先導的役割」の発揮

✂各組合の取組み全般に資する「バックアップ機能」の強化